

## 平成22年度 市長施政方針(要旨)

3月1日に開会した第231回加西市議会定例会において、中川市長は平成22年度施政方針を述べました。

施政方針は市の基本指針となるもので、担当部署はこれに基づき施策を実施します。

施政方針の全文は、加西市ホームページに掲載しています。

施政方針を述べる中川市長



### ■現在の財政状況

市の財政は22年度から24年度が最も深刻です。実質累積債務はこの5年間で21%余り削減できる見通しですが、引き続き大変厳しい舵取りを要求されています。平成22年度の市税収入は約61億円の見込みで、ピーク時の平成9年度に比べて10億円減少する見込みです。厳しい経済情勢の中、市民の皆様や市内企業の納税のご苦勞に思いを致し、更なる行財政改革を進め、職員の意識改革とスキルアップを通して、市民サービスの質向上と市役所運営の効率化を図る所存です。

### ■最重要課題は教育問題

児童生徒数の減少と将来的な財政負担を念頭に置きつつ、質の高い教育を実現しようとするなら、やはり幼稚園・保育所の一元化・民営化、そして小中学校の再編問題は避けて通れません。新時代の教育理念などを明らかにした上で、加西市の将来の人口予測や財政見通しなども整合性の取れた、より合理的で現実的なプランを市民の皆様にお示しして一緒に考えていく所存です。

長年放置されてきた老朽校舎の建替えや耐震補強については、昨年度の加西中学校の耐震補強工事に続いて、善防中学校南校舎他、賀茂小学校体育館、泉中学校武道場などを順次着手したいと考えます。北条中学校の校舎は本年7月より建替え工事に入ります。また、教育研修所と青少年センターを旧兵庫県加西健康福祉事務所跡に移転・統合し、教育のレベルアップを図ります。

### ■先駆的な環境施策

市長に就任して以来、私の重要政策は行財政改革と環境施策であり、22年度も引き続き注力いたします。ごみの削減、分別の強化、再資源化の促進、不法投棄対策など従来型の環境対策はもとより、CO2削減対策、下水汚泥の利活用、生物多様性などについても積極的に取り組みます。また、里山や竹林の間伐を進め、かつてマツタケなどが生育した豊かな里山の自然環境と農村景観を復活させたいと考えています。その活動で生じる木材や竹材などを木質系バイオマスとして有効活用することにより、化石燃料の使用を減らし、低炭素社会のモデルを示します。

### ■上下水道事業の効率化

既に市内の下水道整備は完了しましたので、各戸からの接続を一層促し、料金収入の増加と事業採算性の向上を図っていきます。一方、上水道事業においては、水道料金の更なる値下げに向け、コンセッション(公設民営)方式など新たな事業手法も含めて、様々な角度から経営効率化と料金値下げのための努力を継続します。

### ■産業の活性化

産業政策の面では、産業構造の変化や技術革新を先取りした将来性豊かな環境技術を有する企業の誘致、とりわけ三洋電機の二期三期の工場誘致、そして鶉野飛行場跡地の払い下げと利活用などに注力します。

農業においては、遊休農地や空き民家の活用による都市農村交流、次世代農業としての環境農業や植物工場、農産物のブランド化などについても取り組む所存です。豊かな自然空間を活かした環境保全型農業を推進するとともに、農商工連携による地域経済の活性化に取り組みます。

### ■「全国に誇れる魅力ある」加西市を目指して

これからの高齢化・人口減少・税収減を見据えれば、今までの事務事業をこれまで通りのやり方で行う自治体経営は、既に立ち行かなくなっています。公民連携を進め、質の高い公共サービスを効率的に提供できる市役所や地域に変えることが、加西市再生の鍵であると考えます。効率的で質の高い行政サービスができる市役所であれば、優良企業の進出も定住人口の増加も期待できません。

加西市内で働き定住するためには、例えば、子供に質の高い教育を受けさせることができるか、文化面で魅力的な街であるかなどが問われます。快適な住空間や多様な都市サービスが保障され、ハイレベルのライフスタイルがこの加西で実現できるよう、環境と景観のまちづくりを市の総合計画や都市計画に位置づけ、ハード・ソフト両面での条件整備と基盤整備を進めます。

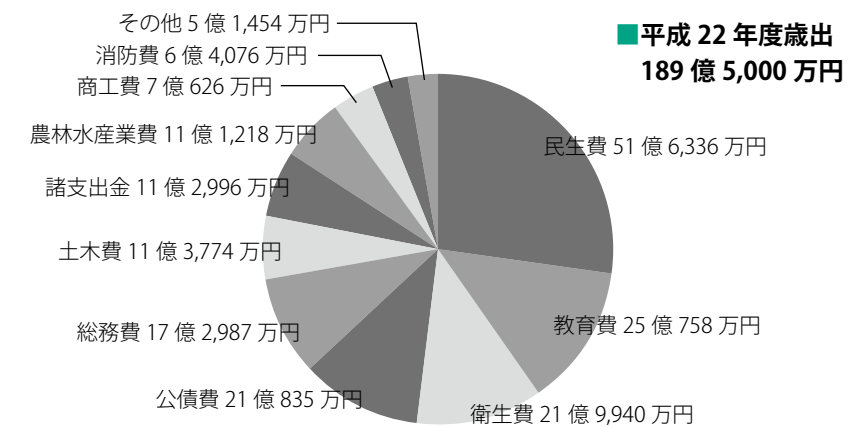
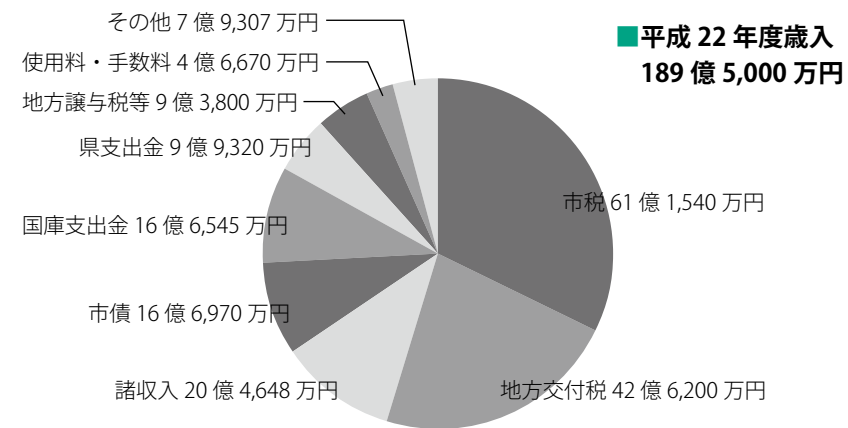
平成22年度も、行政の旧弊を打ち破り、自治体経営の新機軸を加西市から発信します。

## 平成22年度予算案の概要

加西市では平成15年度に財政再建推進計画を策定し、現在は後期5カ年計画に基づき、財政健全化に向けて、歳入の確保及び歳出の削減に取り組んでいるところです。平成22年度の予算編成では、基金の取崩しを最小限に抑え、ハード整備よりもソフト事業を優先するなど、徹底した歳出削減に努めました。また、国の三位一体改革以降、年々削減されてきた地方交付税が平成22年度は増額され、市税収入の減少分については補てんされることになりましたが、この措置が翌年度以降も継続されるかどうかについては不透明です。

そのため、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立を目指し、本年も引き続き、質の高いサービスを低コストで効率的に提供できるよう、予算執行の段階でも常にコスト意識を持ってそれぞれの事業に取り組んでまいります。なお、各事業の費用対効果及び必要性、並びに緊急性を検証することを目的に、平成19年度の予算編成から、事業費と人件費を合わせた「事業別トータルコスト計算書」を導入しているところです。また、今年度からは予算編成過程についての透明性を高めるために、主な事業について、予算要求・査定各状況を段階的にホームページで公表することで市民の皆様への情報開示を行っています。

一般会計	189億5,000万円	(対前年 +3億4,100万円)	1.8%
特別会計	90億3,356万円	(同 +1億4,722万円)	1.7%
企業会計	130億8,606万円	(同 △2億1,385万円)	△1.6%
総額	410億6,962万円	(同 +2億7,437万円)	0.7%



【問合先】 財政課 ☎48710

### ■予算トピックス

**学校施設耐震化事業 11億3,386万円**  
北条中学校地震改築工事(Ⅱ期)、泉中学校武道場耐震補強工事

**ヤングアドバイザー事業 547万円**  
教員系の大学生等を小中学校に配置、教員の補助員として児童生徒の支援を行う。

**子育て支援特別対策事業(安心こども基金) 1億5,000万円** 私立保育所の施設整備費

**幼稚園預かり保育の拡充(全国で実施) 1,013万円** 幼稚園教育の機会の拡充を図り併せて子育て支援を充実させる。

**学童保育運営事業 3,573万円**  
保護者の就労等で昼間の保育に欠ける小学校1～3年生までの児童を対象。実施園：北条・北条東・下里・九会・日吉・泉

**総合計画策定事業 760万円**  
平成32年度を目標年次とする総合計画を、市民参画を得て策定する。

**加西市公共交通活性化事業 800万円**  
コミュニティバスの再編や新たな公共交通機関の導入、北条鉄道活性化の検討。

**乳幼児等医療費助成事業 1億1,397万円**  
中学3年生までの入院療養に要する医療費の無料化。

**後期高齢者人間ドック等受診助成 102万円**  
後期高齢者医療の被保険者が受診する人間ドック等に要する費用の一部を助成。

**妊婦健康診査助成事業 2,391万円**  
14回で、70,000円の助成。(62,000円から8,000円の増額)

**市民参画推進助成事業 150万円**  
地域での女性登用と啓発のため自治会三役に女性を登用した町に10万円を助成。

**若者世帯持家促進補助事業 225万円**  
新築もしくは築後10年以内の住宅を取得した若者世帯に最大50万円の補助。

**生態系ネットワーク計画策定 200万円**  
市内生態系の現状把握、持続的発展を目的とする生態系ネットワーク計画をCSR事業を活用し策定。(債務負担H23:800万円)

**ごみ収集委託 945万円**  
泉中学校区のごみ収集(可燃・不燃・埋立て)を民間委託。(市内全域完全民間委託)